

- 問1 下関条約の締結後、ロシア・ドイツ・フランスの3国が、日本に対して獲得したばかりの遼東半島を清に返還するよう求めてきた出来事を何というか。また、その後の日本の動向として適切なものはどれか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 三国同盟を結成し、ロシアの南下政策を阻止するためにイギリスとの協調を深めた。 | 2. 日露協定を締結し、遼東半島の返還と引き換えに満州における鉄道利権をロシアから譲り受けた。 | 3. ポツダム宣言を受諾し、割譲された領土をすべて放棄することで東アジアの平和を維持した。 | 4. 三国干渉を受け、遼東半島を返還したが、これを機にロシアへの対抗心を強めて軍備を拡張した。 |
|---|---|---|---|
-
- 問2 1872年に日本初の鉄道が開通した当時の社会情勢や背景を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 日清戦争の勝利を受けて、工業化を加速させるための全国的な鉄道網が完成していた。 | 2. 鎖国体制を維持したまま、国内の物流を活性化させるために幕府が建設を主導した。 | 3. 重化学工業が発展し、原料の輸送を効率化するために民間の資本によって建設された。 | 4. 文明開化の風潮の中で、西洋の技術や制度を導入して国力を高めようとしていた。 |
|--|---|--|--|
-
- 問3 自由民権運動の高まりを受け、明治政府は段階的に立憲政治の準備を進めました。1881年に出された「国会開設の勅諭」から、1889年の「大日本帝国憲法」発布までの政治的な動きを説明した文として、正しいものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 国会開設の勅諭で10年後の議会開設を約束した後、伊藤博文を中心として内閣制度を創設し、行政組織を整備してから憲法を制定した。 | 2. 大日本帝国憲法を先に発布し、その内容に基づいて行政の最高機関である内閣制度を創設し、最後に国会開設の勅諭を出して議会を招集した。 | 3. 民権議院設立白書が提出された直後、政府はすぐに内閣制度を導入し、その翌年に大日本帝国憲法を国民に公布した。 | 4. 地方での自由民権運動を鎮圧するために国会開設の勅諭を出したが、内閣制度の創設が遅れたため、憲法の制定は20世紀まで延期された。 |
|---|---|--|--|
-
- 問4 第一次世界大戦直前の国際関係において、日本がイギリス側の陣営（三国協商側）として参戦する根拠となり、当時の日本の外交方針に大きな影響を与えていた同盟は何か、選びなさい。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|-----------|---------|
| 1. ポルツマス条約 | 2. 日英同盟 | 3. 日清共同宣言 | 4. 日露協約 |
|------------|---------|-----------|---------|
-
- 問5 栃木県に位置する足尾銅山で発生した鉱毒事件に関する記述として、歴史的背景や事象の説明が正しいものはどれか、次の中から選びなさい。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 愛媛県の別子銅山で発生した、製錬時の煙による森林被害や農作物の被害が主な原因であった。 | 2. 高度経済成長期に、工場から海へ排出されたメチル水銀が魚介類に蓄積したことで発生した。 | 3. 採掘に伴う鉱毒が河川に流入し、下流域で大規模な農作物の被害や健康被害を引き起こした。 | 4. 石炭の増産を優先した結果、九州地方の炭鉱周辺で土壌汚染と地盤沈下が深刻化した。 |
|--|---|---|--|
-
- 問6 19世紀後半、ロンドン、ニューヨーク、サンフランシスコ、横浜、カイロなどを結ぶ世界一周の航路が整備されるなど、交通・通信の発達が進みました。この時期、欧米列強が軍事力を背景に、工業製品の市場や原料の供給地を求めてアジアやアフリカへ進出し、植民地を広げようとした動きを何といいますか。 (2024年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 自由主義 | 2. 啓蒙思想 | 3. 帝国主義 | 4. 社会主義 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問7 日露戦争の終結に向けた、日本とアメリカ合衆国の外交関係について述べた文として、当時の状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 日本軍がロシアの首都を占領して勝利を確定させたため、アメリカ合衆国の強い要求により無条件降伏を受け入れさせた。 | 2. 日本はアメリカ合衆国を仲介役として、清の北京で講和会議を開催し、多額の賠償金を得ることで合意した。 | 3. 日本は国力の限界を背景に、アメリカ合衆国の仲介を受けてポーツマス条約を締結し、戦争を終結させた。 | 4. 日本はイギリスとの同盟関係に基づき、アメリカ合衆国を介さずにロシアと直接交渉して領土問題を解決した。 |
|--|--|---|---|
-
- 問8 明治後期の日本において、大阪紡績工場に代表されるような紡績業や製糸業といった近代産業が急速に発展した背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 欧米諸国との間で関税自主権を完全に回復したことにより、安価な原料を無税で輸入できるようになった。 | 2. 軍備を制限することで得られた余剰資金が、民間の軽工業分野へ集中的に投資された。 | 3. 農村出身の女子工員らによる低賃金での長時間労働が、国際競争力のある製品生産を支えていた。 | 4. 労働組合の結成が政府によって推奨され、労働環境が改善されたことで生産効率が飛躍的に向上した。 |
|---|--|---|---|
-
- 問9 1889年2月11日に、天皇が国民に与えるという形式で発布された日本最初の近代憲法を何といいますか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|----------|------------|
| 1. 大日本帝国憲法 | 2. 十七条の憲法 | 3. 日本国憲法 | 4. 五箇条の御誓文 |
|------------|-----------|----------|------------|
-
- 問10 1880年代に入ると、政府主導だけでなく民間による産業発展も加速しました。近畿地方の大阪府に位置し、渋沢栄一らによってイギリスの技術を導入して設立された、当時最大級の規模を誇った民間工場を名称として正しいものを選んでください。 (2023年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|
| 1. 長崎造船所 | 2. 富岡製糸場 | 3. 大阪紡績会社 | 4. 八幡製鉄所 |
|----------|----------|-----------|----------|
-
- 問11 1911年に清で発生した大規模な革命の指導者で、翌1912年にアジアで初めての共和国として建国された中華民国の臨時大統領に就任した人物は誰ですか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 1. 孫文 | 2. 蔣介石 | 3. 袁世凱 | 4. 毛沢東 |
|-------|--------|--------|--------|
-
- 問12 1902年に日本がイギリスとの間で「日英同盟」を結んだ主な背景・理由について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 江華島事件の解決において、イギリスの軍事的な支援を受ける必要があったため。 | 2. 三国干渉による遼東半島の返還を阻止するために、イギリスに仲裁を依頼するため。 | 3. 日清戦争後の三国干渉を経て、満州や朝鮮半島への進出を強めるロシアに対抗するため。 | 4. 東学党の乱を鎮圧するために、イギリス軍を朝鮮半島へ派遣してもらうため。 |
|--|---|---|--|
-
- 問13 1890年代の日本において、紡績業を中心とした産業が急速に成長しました。1893年から1899年にかけて綿糸の生産量が約90,000トンから約180,000トンへと倍増した状況を説明する表現として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|--------------------------|------------------------------|-------------------------|
| 1. 農業の機械化が進み、米の生産量が急増した | 2. 化学工業が発展し、肥料の自給が可能になった | 3. 軽工業が発展し、綿糸が大量に生産されるようになった | 4. 重工業が発展し、鉄鋼の生産が中心となった |
|-------------------------|--------------------------|------------------------------|-------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 三国干渉を受け、遼東半島を返還したが、これを機にロシアへの対抗心を強めて軍備を拡張した。	日本が遼東半島を獲得すると、東アジアへの進出を狙っていたロシアは、ドイツとフランスを誘って日本に圧力をかけました。これを三国干渉といいます。日本は列強との力の差を背景に要求を受け入れましたが、国民の間ではロシアに対する不満が高まり、「臥薪嘗胆」を合言葉に軍備拡張を進める結果となりました。
問2	答え 4 文明開化の風潮の中で、西洋の技術や制度を導入して国力を高めようとしていた。	明治時代初期、政府は欧米諸国に対抗できる近代国家をつくるため、「富国強兵」や「殖産興業」を掲げました。鉄道の開業は、人力車や馬車に代わる新しい交通手段として、文明開化を象徴する出来事となりました。日清戦争や重化学工業の発展は明治時代中期以降の出来事であり、鉄道建設は政府が主導しました。
問3	答え 1 国会開設の勅諭で10年後の議会開設を約束した後、伊藤博文を中心として内閣制度を創設し、行政組織を整備してから憲法を制定した。	政府は1881年の「国会開設の勅諭」で10年後の議会開設を公約しました。その後、議会が開かれた際に政府が機能できるよう、1885年に内閣制度を創設して行政組織を近代化しました。その準備が整った上で、1889年に大日本帝国憲法が公布されました。
問4	答え 2 日英同盟	日本は1902年にイギリスとの間で日英同盟を締結していました。第一次世界大戦が勃発した際、日本はこの同盟に基づき、イギリスと同じ三国協商側の陣営としてドイツに宣戦布告しました。これにより日本は、ドイツが権益を持っていた中国の山東半島や太平洋の島々を攻撃し、アジアにおける影響力を拡大させていきました。
問5	答え 3 採掘に伴う鉱毒が河川に流入し、下流域で大規模な農作物の被害や健康被害を引き起こした。	足尾銅山鉱毒事件は、渡良瀬川の下流域である栃木県や群馬県などで深刻な被害をもたらしました。当時、日本は近代化を急いでおり、産業の発展を優先するあまり環境対策が疎かにされたことが背景にあります。選択肢にある別子銅山は煙害、メチル水銀は水俣病に関する記述であり、足尾銅山とは被害の形態や発生時期が異なります。
問6	答え 3 帝国主義	19世紀後半、産業革命を達成した欧米の強国は、自国の工業をさらに発展させるために必要な原料を確保し、製品を販売する市場を求めて海外進出を強めました。このような強大な軍勢力や経済力で他国を支配しようとする動きを帝国主義と呼びます。この時期には蒸気船や鉄道などの交通網が世界規模で発達し、人や物の移動が以前よりも迅速に行われるようになりました。
問7	答え 3 日本は国力の限界を背景に、アメリカ合衆国の仲介を受けてポーツマス条約を締結し、戦争を終結させた。	日本は戦局が有利なうちに戦争を終結させるため、アメリカに仲介を求めました。1905年にアメリカのポーツマスで講和会議が開かれましたが、賠償金を得ることができなかったため、日本国内では不満が高まり日比谷焼打ち事件が発生するなどの混乱も招きました。
問8	答え 3 農村出身の女子工員らによる低賃金での長時間労働が、国際競争力のある製品生産を支えていた。	日本の近代産業の発展、特に初期の軽工業（製糸・紡績業）は、農村の貧困層から供給された女子工員たちの過酷な労働条件によって支えられていました。このような産業基盤の確立が、当時の日本の帝国主義的な対外政策を経済面から後押しすることとなりました。当時、労働者の権利保護や軍備の縮小といった動きはまだ主流ではなく、むしろ富国強兵に向けた産業育成が優先されていました。
問9	答え 1 大日本帝国憲法	明治政府は近代国家の枠組みを整えるため、プロイセン（ドイツ）の憲法を参考に作成を進めました。1889年に公布されたこの憲法は、主権が天皇にある「欽定憲法（きんていけんぽう）」としての性質を持っています。1946年に公布された日本国憲法と混同しないよう注意が必要です。
問10	答え 3 大阪紡績会社	1882年に渋沢栄一らが設立した大阪紡績会社は、イギリスから輸入した蒸気機関や紡績機を使用し、夜間操業を行うことで大量生産を可能にしました。これが成功したことで、日本の産業の中心は官営から民間へと移り変わり、綿糸の生産量が急増して「東洋のマンチエスター」と呼ばれるほどの発展を遂げました。
問11	答え 1 孫文	清の支配を倒すために、日本などで革命勢力を結集して中国同盟会を結成しました。革命発生時にはアメリカに滞在していましたが、急遽帰国して中華民国の建国に尽力したことから、中国では「革命の父」として尊敬されています。
問12	答え 3 日清戦争後の三国干渉を経て、満州や朝鮮半島への進出を強めるロシアに対抗するため。	日清戦争後にロシア・ドイツ・フランスが行った三国干渉により、日本はロシアを将来的な最大の脅威と認識するようになりました。一方のイギリスも、中国大陸においてロシアが南下政策を進めることを警戒していました。このように、ロシアの拡大を抑えたいという両国の利害が一致したことが、1902年の日英同盟締結の決定的な要因となりました。この同盟により、日本はのちの日露戦争を外交的に有利な状況で迎えることができました。
問13	答え 3 軽工業が発展し、綿糸が大量に生産されるようになった	明治時代の産業革命は、まず紡績業や製糸業といった軽工業から始まりました。1890年代後半には機械化が進んだことで生産力が飛躍的に向上し、綿糸が大量に生産されるようになりました。この発展により、日本は綿糸の輸入国から輸出国へと転換することに成功しました。